

報道各位

2022年4月1日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ 美術振興財団

アート・コミュニケーショングループ 2022年度事業のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、昨年11月に開館30周年を迎えることを契機に「アート・コミュニケーショングループ」を設立しました。

猪熊弦一郎が大切にしていた子どもへの美術教育を軸に、芸術の場においては身体や性、職業や肩書き、国籍の垣根を超えた新たな交流を生み出し、個々の感性を育み、豊かな文化を創り出すことを目的とした事業を展開しています。

この度、2022年度事業に関して詳細をご案内します。プレス関係の皆様には、ご周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



ものづくりワークショップ「布で絵をつくる」2021年
展示風景

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
担当：奥本末世

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.jp

瀬戸内国際芸術祭2022 記念事業

“MIMOCA × tupera tupera 巨大すごろくプロジェクト”

瀬戸内国際芸術祭2022開催を記念して美術館とtupera tuperaによる、商店街アートプロジェクトを開始します。

一般参加者と美術館で、すごろくのマスとなる原画を作り、1mのマスへと巨大化させ、丸亀市の中心街に位置する通町商店街の約300mに及ぶ道に展示。商店街の道を盤にしてすごろくを楽しみながらゴール（丸亀城方向）を目指す一大プロジェクトです。

【制作】

「すごろくマスづくりワークショップ」

日時：5月5日（木・祝）

会場：MIMOCA 2階造形スタジオ

対象：小学生～大人

定員：80名程度

※応募に関してはMIMOCA WEBサイトにて随時公開

【展示期間】9月24日（土）～11月6日（日）予定

【展示会場】通町商店街

【企画・監修】

tupera tupera(ツペラツペラ)

亀山達矢と中川敦子によるクリエイティブユニット。

絵本やイラストレーションを中心に、様々な分野で幅広く活動している。

絵本に「しろくまのパンツ」「パンダ銭湯」「かおノート」「やさいさん」など著書多数。

NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。

2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

【主催】

丸亀市

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団



Photo Ryumon Kagioka

◎関連イベント

「オープニングセレモニー」

瀬戸フィルハーモニー交響楽団が音楽ワークショップを通して編成したキッズ楽団とともに巨大すごろくのお披露目を祝います。

日時：9月24日（土）9:00-10:00予定

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ゲートプラザ

開館記念イベント

昨年開館30周年を迎え、猪熊弦一郎の生誕120周年となる本年では無料開館のほか、カフェMIMOCAを運営する“まちのシューレ963”による「美味しいもの」「楽しいもの」に出会える小規模マルシェを実施する予定です。

開催日：11月23日（水・祝）予定

※詳細は、追って発表



MIMOCA × 井上涼 アニメーション「ビフォアミモカ」公開

美術館での過ごし方、猪熊作品の魅力を子どもにも大人にも伝わるような美術館紹介アニメーション「ビフォアミモカ」。アーティスト・井上涼と美術館で協議し、約1年かけて制作した動画をYouTubeで公開します。

MIMOCA来館を明日に控えたある女性の、漠然とした不安からストーリーが始まります。美術館に行くことためらいがある方や、実際にどう楽しめばよいのか分からないという方の不安な気持ちに寄り添い、解きほぐしてもらうことを目的としています。



公開時期：5月ごろ予定

井上涼（いのうえりょう）

兵庫県生まれ。2007年に金沢美術工芸大学デザイン学科視覚デザイン専攻卒業。卒業制作「赤ずきんと健康」がBACA-JA2007佳作受賞。2013年より「びじゅチューン!」（NHK Eテレ）放送開始。

学校連携の強化

昨年より造形スタジオでの美術創作ワークショップに加え、さまざまなジャンルの講師を招聘し、パフォーマンスを通して一人ひとりの感性やコミュニケーション能力を引き出す身体表現ワークショップを実施してきました。本年は美術館を出発点として、アーティストと共同した学校訪問をスタートします。

授業の一環として来館できない学校へアーティストを派遣し、子どもの表現力、個性を認め合うプログラムを提供することにより、美術館での活動を学校の間まで展開させます。



《創造の広場》前にて

実施期間：10月予定

◎派遣アーティスト

んまつーポス（namstrops）

2006年に結成、逆さから物事を考えることで新たな価値を創造するダンスカンパニー。これまでに15カ国40都市（エストニア、ルーマニア、香港等）で作品を招聘・上演。国内では、アート空間に「体育」（からだを育む思想）を展示している。宮崎市に「公立ではない公共」のコンテンポラリーダンス専用劇場（CandY）を設立（2019.3）。

事業概要



「心の病院」として、人々の明日への活力を与える場所として、美しいものや表現に出会うことで新しい交流と価値を見出すプログラムを提供する事業。人々の暮らしの中にMIMOCAがプラスされていくことを目指します。



「子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし育む」ために、現代美術をはじめとして、音楽、ダンス、演劇など年間を通して子ども向けプログラムを実施します。

2022年度展覧会情報

「生誕120周年記念 猪熊弦一郎回顧展 美しいとは何か」
会期：2022年4月2日（土）～7月3日（日）

「今井俊介展（仮称）」
会期：2022年7月16日（土）～11月6日（日）

「MIMOCA EYE / ミモカアイ」
会期：2022年11月23日（水・祝）～2023年2月下旬

「山城知佳子展（仮称）」
会期：2023年3月下旬～6月上旬

※常設展は企画展の会期にあわせて開催

【注】

新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢に応じて内容の変更および中止する可能性もございます。予めご了承ください。